

高速増殖原型炉もんじゅの 2 次系ナトリウム漏えい事故について

平成 8 年 2 月 6 日
動力炉・核燃料開発事業団

1. 経緯

平成 7 年 12 月 8 日、「もんじゅ」の 2 次系(C ループ)において、ナトリウム漏えい事故が発生、原子炉を手動停止した。

1 次系主冷却系 C ループと漏えいが発生した 2 次主冷却系 C ループのナトリウムをドレンした後、2 次主冷却系の各室に飛散したナトリウム化合物の除去・清掃作業、原因究明のためのロストパーツ探索作業を実施している。

2. 最近の状況

当該配管室等の床・壁等の清掃を継続して実施している。

ロストパーツ探索作業は現在、第 2 段階の準備として足場の組立を行っている。

当該温度計漏えい周辺部の切断準備として、2 月 4 日・5 日に 1 次切削を実施し、5 日にプラバックの設置準備を実施した。

また、2 次系温度計部シール強化作業のため、本日 2 次系 B ループのナトリウムドレンを実施する予定である。

3. 今後の予定

当該 2 次系配管漏えい部の温度計部を切断し、より詳細な調査を行う。また、ロストパーツの探索作業を継続して実施すると共に、2 次系 B ループ温度計部のシール強化作業を行う予定である。

以上